

1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

ソフトウェア活用		冊数	2冊
発行者の略称・教科書の番号	実教736 東法737		

2 学習指導要領における教科・科目の目標等

【商業の目標】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業をはじめ経済社会の健全で持続的な発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【ソフトウェア活用の目標】

商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、企業活動におけるソフトウェアの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 企業活動におけるソフトウェアの活用について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 企業活動におけるソフトウェアの活用に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を養う。
- (3) 企業活動を改善する力の向上を目指して自ら学び、企業活動におけるソフトウェアの活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

【ソフトウェア活用の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
(1) 企業活動とソフトウェアの活用 ア ソフトウェアの重要性 イ 情報通信ネットワークの導入と運用 ウ 情報資産の保護 (2) 表計算ソフトウェアの活用 ア オペレーションズ・リサーチ イ 情報の集計と分析 ウ 手続の自動化 (3) データベースソフトウェアの活用 ア データベースの重要性 イ データベースの設計 ウ データベースの作成と操作 エ 手続の自動化 (4) 業務処理用ソフトウェアの活用 ア 仕入・販売管理ソフトウェアの活用 イ 給与計算ソフトウェアの活用 ウ グループウェアの活用 (5) 情報システムの開発 ア 表計算ソフトウェアによる情報システムの開発 イ データベースソフトウェアによる情報システムの開発	内容を取り扱う際の配慮事項は次のように示されている。 ア 情報技術の進歩に留意して指導すること。また、情報を多面的・多角的に分析し工夫して表現する学習活動、情報の管理と提供の方法について考察や討論を行う学習活動及びソフトウェアを活用する具体的な場面を想定した実習を通して、企業活動においてソフトウェアを適切に活用することができるようにすること。 イ 〔指導項目〕の(5)のア及びイについては、生徒の実態や学科の特色に応じて、その中からいずれか一つを選択して扱うことができること。

3 教科書の調査研究

(1) 内容

ア 調査研究の総括表

調 査 項 目		対象の根拠（目標等との関連）
a	単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	学習指導要領第3章第3節第3款1(1)
b	ビジネスに関わる内容	学習指導要領第3章第3節第1款
	その他の項目（各教科共通）	学習指導要領、東京都教育委員会の基本方針、東京都教育ビジョン

イ 調査項目の具体的な内容

① 調査項目の具体的な内容の対象とした事項

調査研究事項の a、b 及びその他の項目との関連で、次の事項について具体的に調査研究する。

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について各単元において、どのような資質・能力を育成できるか見取る。
- b ビジネスに関わる内容
- ・ 各単元において、ビジネスに関わる内容を見取る。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫
- ・ 人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫
- ・ 安全・防災や自然災害の扱い
- ・ オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫
- ・ 固定的な性別役割分担意識に関する記述等

② 調査対象事項を設定した理由等

- a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成(各教科共通)
- ・ 学習指導要領の中に、「単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成について」言及されているため、各単元における資質・能力をどのように育成できるかという視点で質的に調査する。
- b ビジネスに関わる内容
- ・ 学習指導要領では、ビジネスに関する課題について、協働して分析、考察、討論を行い、解決策を考案し地域や産業界等に提案するなど言語活動の充実を図ることが求められているため、ビジネスに関わる項目・題材について調査する。

《その他の項目》(各教科共通)

- ・ 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- ・ 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の向上が重要であることから、防災や自然災害の扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。
- ・ 東京都教育委員会の基本方針1及び東京都の男女平等参画推進の施策を踏まえ、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に気付いて言動等を見直していくなど、男女の平等を重んずる態度を養うことができるよう、その扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫(各教科共通)

- ・ デジタルコンテンツの扱い
- ・ ユニバーサルデザインの視点

教科名	商業
科目名	ソフトウェア活用

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	実教
教科書番号	商業736◆
教科書名	ソフトウェア活用
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【企業活動とソフトウェアの活用】	・「企業活動とソフトウェアの活用」について、図表により説明することで、「企業活動とソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【表計算ソフトウェアの活用】	・「表計算ソフトウェアの活用」について、図表により説明することで、「表計算ソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【データベースソフトウェアの活用】	・「データベースソフトウェアの活用」について、「探求問題」などで、自ら考えて説明する活動やグループで調査・考察し、討議する活動を通して、「データベースソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【業務処理用ソフトウェアの活用】	・「業務処理用ソフトウェアの活用」について、「探求問題」などで、自ら考えて説明する活動やグループで調査・考察し、討議する活動を通して、「業務処理用ソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【情報システムの開発】	・「情報システムの開発」について、図表により説明することで、「情報システムの開発」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
b ビジネスに関わる内容	
【企業活動とソフトウェアの活用】	・「企業活動とソフトウェアの活用」について、企業での活用例などを通して、「企業活動とソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【表計算ソフトウェアの活用】	・「表計算ソフトウェアの活用」について、企業での活用例などを通して、「表計算ソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【データベースソフトウェアの活用】	・「データベースソフトウェアの活用」について、企業での活用例などを通して、「データベースソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【業務処理用ソフトウェアの活用】	・「業務処理用ソフトウェアの活用」について、企業での活用例などを通して、「業務処理用ソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【情報システムの開発】	・「情報システムの開発」について、企業での活用例などを通して、「情報システムの開発」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	・ソフトウェアを活用した防災対策についての例を取り上げている。
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	・二次元コードからインターネット上のコンテンツを利用できるよう工夫されている。
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインに配慮されている。

教科名	商業
科目名	ソフトウェア活用

※「教科書番号」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示す。

発行者（略称）	東法
教科書番号	商業737◆
教科書名	ソフトウェア活用
(1) 内容	
a 単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成（各教科共通）	
【企業活動とソフトウェアの活用】	・「企業活動とソフトウェアの活用」について、図表により説明することで、「企業活動とソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【表計算ソフトウェアの活用】	・「表計算ソフトウェアの活用」について、「例題」などで、自ら考えて説明する活動やグループで調査・考察し、討議する活動を通して、「ソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【データベースソフトウェアの活用】	・「データベースソフトウェアの活用」について、「例題」などで、自ら考えて説明する活動やグループで調査・考察し、討議する活動を通して、「データベースソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【業務処理用ソフトウェアの活用】	・「業務処理用ソフトウェアの活用」について、「例題」などで、自ら考えて説明する活動やグループで調査・考察し、討議する活動を通して、「業務処理用ソフトウェアの活用」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
【情報システムの開発】	・「情報システムの開発」について、図表により説明することで、「情報システムの開発」についての関連する技術を身に付けることができるよう工夫されている。
b ビジネスに関わる内容	
【企業活動とソフトウェアの活用】	・「企業活動とソフトウェアの活用」について、架空のレストランでの活用例などを通して、「企業活動とソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【表計算ソフトウェアの活用】	・「表計算ソフトウェアの活用」について、架空のレストランでの活用例などを通して、「表計算ソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【データベースソフトウェアの活用】	・「データベースソフトウェアの活用」について、架空のレストランでの活用例などを通して、「データベースソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【業務処理用ソフトウェアの活用】	・「業務処理用ソフトウェアの活用」について、架空のレストランでの活用例などを通して、「業務処理用ソフトウェアの活用」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
【情報システムの開発】	・「情報システムの開発」について、架空のレストランでの活用例などを通して、「情報システムの開発」の内容について理解が深まるよう工夫されている。
《その他の項目》（各教科共通）	
我が国の伝統や文化、国土や歴史に対する理解、他国の多様な文化の尊重に関する特徴や工夫	記載なし
人権課題（同和問題、北朝鮮による拉致問題等）に関する特徴や工夫	記載なし
安全・防災や自然災害の扱い	記載なし
オリンピック・パラリンピックに関する特徴や工夫	記載なし
固定的な性別役割分担意識に関する記述等	記載なし
(2) 構成上の工夫	
デジタルコンテンツの扱い	記載なし
ユニバーサルデザインの視点	・ユニバーサルデザインに配慮されている。